

令和8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医用画像		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 火曜4限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	田中敬子	実務経験と その関連資格	(旧)大阪厚生年金病院、ベルランド病院で、言語聴覚士として失語症等に対して臨床を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
神経学的検査の一つである脳画像診断について専門的知識を得て、言語障害臨床の基礎とする。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「脳画像(医学書院)」、「脳画像に書き込みながら身につける!読み方とリハでの活かし方」、「病気がみえる7脳・神経(株式会社メディックメディア)第2版」他を参考図書とする。						
《授業外における学習方法》						
テーマ毎に小テストを行うので、該当箇所を復習することが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料を理解の上、模型・実物を使用した演習においては確実に身につけるよう積極的に参加すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	本科目の学習の進め方を身につける。 神経系の全容(中枢、末梢)について理解し説明できる。	配布プリント	該当箇所を予習する	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」33頁、 「病気がみえる7」2～3頁 について説明します。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の解剖(大脳、間脳、脳幹、小脳)について理解し説明できる。	同上	前回内容を復習する	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」114頁、 「病気がみえる7」4～5頁 について説明します。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳皮質の解剖(外側面、内側面、底面)について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」115頁、 「病気がみえる7」4～5頁 について説明します。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳基底核・視床の解剖について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」119頁、 「病気がみえる7」43～45頁 について説明します。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳辺縁系(扁桃体、海馬)について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」40、50～51頁 について説明します。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 交連線維(脳梁)、脳室系の解剖について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」6, 169～171頁 について説明します。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳画像の概要について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」52～55頁、「脳画像」45～47頁 について説明し、画像フィルムを供覧します。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 【水平断】脳画像各レベルの見極め方(頭頂～基底核・視床)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「脳画像に書き込み～」62～92頁 について説明します。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 【水平断】脳画像各レベルの見極め方(視床下部～延髄)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「脳画像に書き込み～」93～110頁 について説明します。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 正常脳画像レベルの見方(全体)、錐体路、脳葉について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「脳画像」59頁、「脳卒中の画像のみかた」86頁 について説明し、画像フィルムを供覧します。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 撮像法ごとの正常・異常脳画像の見方について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」563頁、「リハに役立つ脳画像」11頁 について説明し、画像フィルムを供覧します。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 異常脳画像の見方(部位・症状)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	PT・OT・ST国試過去問 について解説します。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 異常脳画像の見方(疾患)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	PT・OT・ST国試過去問 について解説します。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 冠状断、矢状断の見方について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「脳画像」12, 49頁、「言語聴覚療法シリーズ3高次脳機能障害」8頁 について説明します。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 その他の脳画像の見方の概要について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」564～565頁 について説明します。		